



Can-do目標	テーマ・トピック例	ジャンル	Can-do目標細目												
			言語					理解							
			談話構成 (文章全体)	談話構成 (段落内・段落相互)	文構成	結束性	スタイル	推測・調整	情報抽出・整理	理解再生	意見・感想の表出	関連情報収集			
初級1	● 易しい語で書かれた、日常生活のごく身近なトピックや日本の文化についての短い文章を読んで理解できる。	自己紹介、私の好きな町、かなと漢字	会話文、日記、説明文	【展開・内容】 ・身近なトピックの短い文章を読み、流れに沿って内容が理解できる。	【対象の明示】 ・人あるいは物・ことについての説明を読んで、その変化または対照するものとの比較などから、その特徴がだいたいわかる。	【単文・複文】 ・主に単文や非常に単純な複文で構成された文がわかる。	【接続詞】 ・非常に基本的な接続詞(例 しかし／そして／それから)を見て、後にどんな内容が来るかわかる。	【指示内容】 ・単純な文脈の中の指示詞が指す内容がわかる。(場面指示・単純な前方照応の文脈指示 例「かばんをなくした。その中に・・・」)	【です・ます体】 ・「です・ます」体で書かれた文章を見て、読み進められる。	【要点整理】 ・いつ、どこで、だれが、何をしたか(4W)がわかる。	【内容再生】 ・シートまたは口頭での質問に、答えることができる。				
初級2	● 易しい語で書かれた、経験や予定などの身近なトピックや日本の文化についての文章を読んで理解できる。 ● 易しい語で書かれた、行書の説明や指示などを読んで理解できる。	生まれ変わったら、私の家族、おくり物文化、地震	説明文、物語文、手紙	【構成・内容】 ・比較的単純な構成の文章を読んで、意味的なまとまりに区切ることで、まとまりごとの内容と文章の要点がわかる。	【対象の明示】 ・人あるいは物・ことについての説明を読んで、その変化または対照するものとの比較などから、その特徴がわかる。	【単文・複文】 ・比較的単純な複文で構成された文がわかる。	【接続表現】 ・ごく基本的な接続表現を見て、文章中の前後の関係がわかる。(例：それで／その後で／～のに)	【指示内容】 ・やや単純な文脈の中の指示詞の指す内容がわかる。	【です・ます体】 ・「です・ます」体で書かれた文章を見て、読み進められる。	【要点整理】 ・いつ、どこで、だれが、なぜ／どんな目的で、何をどのようにしたか(5W1H)がわかる。	【内容再生】 ・空欄を含む内容整理の表や要約文に必要な言葉が入られる。	【感想・意見】 ・文章の内容について、簡単な感想や意見を示すことができる。			
中級1	● 語のコントロールをして書かれた、身近な社会や文化についての文章を読んで理解できる。 ● 語のコントロールをして書かれた短い物語や説明文を読んで、理解できる。	日本の国土、日本人の食生活、住まいの工夫	説明文、物語文、手紙・メール	【構成・内容】 ・構成が明快な文章を読んで、意味的なまとまりに区切ることができ、まとまりごとの内容と文章の要点がわかる。	【対象の明示】 ・人あるいは物・ことについての説明を読んで、その変化または対照するものとの比較などから、その特徴が十分わかる。	【単文・複文】 ・基本的な接続表現や比較的単純な複文で構成された文がわかる。	【接続表現】 ・基本的な接続表現を見て、文章中の前後の関係がわかる。(例 ます／次に／また／つまり／そのために(理由)／このように)	【指示内容】 ・文脈の中の指示詞の指す内容がわかる。 ・基本的な呼応、文末表現がわかる。(例 というのは～のことだ。…)	【普通体】 ・普通体で書かれた文章を読んでよくわかる。	【未知情報推測】 ・未知語の漢字熟語の意味を、漢字の意味から推測できる。	【情報整理】 ・文章で示された順序や因果関係の説明が、文章の要点や結論とどう関係づけられるかわかる。	【内容再生】 ・空欄を含む内容整理の表や要約文に必要な言葉や表現が入られる。	【感想・意見】 ・文章の内容について、自分や自国の場合と対照させて、簡単な感想や意見を示すことができる。		
中級2	● 語のコントロールをして書かれた、具体性のある社会や文化のトピックの文章を読んで理解できる。 ● 語のコントロールをして書かれた物語や説明文を読んで、理解できる。	留学することの意義、「就活」を考える、1杯の世界を考えると、にじり口	説明文、意見文、物語文、手紙・メール	【構成・内容】 ・構成が明快な文章を読んで、意味的なまとまりに区切ることができ、まとまりごとの内容と文章の要点がわかる。	【判断主体】 ・省略が含まれる部分について誰が判断を下したかわかる。	【単文・複文】 ・やや複雑な接続表現や連体修飾節が組み合わされた複文がだいたいわかる。	【接続表現】 ・やや複雑な接続表現を見て、文章中の前後の関係がわかる。(例 一方で／したがって)	【指示内容】 ・文脈の中の指示詞の指す内容がわかる。	【スタイルの使い分け】 ・直接引用の文体や終助詞の使用、接続表現の前の活用形の制限についてほぼ理解し、意識しながら読める。	【未知情報推測】 ・未知語の意味を、語を構成する漢字の意味や、前後の既知語から推測できる。	【情報整理】 ・文章で示された順序や因果関係の説明が、文章の要点や結論とどう関係づけられるかわかる。	【内容再生】 ・空欄を含む内容整理の表や要約文に必要な言葉や表現が入られる。	【感想・意見】 ・文章の内容について、自分や自国の場合と対照させて、感想や意見を示すことができる。	【関連情報】 ・読んだ文章のテーマに関連する情報を検索して、必要な文章が見つけれられる。	
中上級	● 一般向けの、具体性のある社会や文化に関する文章を読んで、文章構成が把握でき、内容が理解できる。 ● 身近なことを題材にした短編小説や記事等を読んで、理解できる。	人口問題-人口ピラミッドからわかること、誤差-日常生活を覆う「正確さ中毒」、愛用の時計(豊新一)	説明文、意見文、論説文、記事、短編小説	【構成・内容】 ・構成が少し複雑な文章を読んで、全体の内容構成がほぼわかる。主張や要点及びそれを支持/説明する箇所とその内容が示せる。	【判断主体】 ・省略が含まれる部分について誰が判断を下したかわかる。	【単文・複文】 ・やや複雑な接続表現や連体修飾節が組み合わされた複文がわかる。	【接続表現】 ・やや複雑な接続表現を見て、文章中の前後の関係が的確にわかる。	【指示内容】 ・文脈の中の指示詞の指す内容が的確にわかる。	【スタイルの使い分け】 ・直接引用の文体や終助詞の使用、接続表現の前の活用形の制限についてほぼ理解し、それらを活用しながら読める。	【未知情報推測】 ・未知語の意味を、語を構成する漢字の意味や、前後の既知語、文脈から推測できる。	【情報整理】 ・文章で示された順序や因果関係の説明が、文章の要点や結論とどう関係づけられるかわかる。	【内容再生】 ・必要となる言い換えをすることによって、文章の要点を的確に示すことができる。	【感想・意見】 ・文章の内容について、自分や自国の場合と対照させて、感想や意見を述べられる。	【批判】 ・必要な時には内容への批判も述べられる。	【関連情報】 ・読んだ文章のテーマに関連する情報を検索して、必要な文章が見つけれられる。
上級1	● 一般向けの、やや抽象度の高い社会や文化に関する文章を読んで、論理構造がわかり、論旨が把握できる。 ● 短編小説や興味のある記事、やや専門的な文章を読んで、理解できる。	翻訳文化と日本語、アニメ映画に吹く風-宮崎駿の仕事-、メディアの中の暴力効果-カタルシス効果、それとも学習効果	論説文、専門書、記事、短編小説	【構成・内容】 ・構成が複雑な文章を読んで、全体の内容構成、論理の流れがわかる。主張や要点及びそれを支持/説明する箇所とその内容が示せる。	【判断主体】 ・省略が含まれる部分について誰が判断を下したかわかる。	【単文・複文】 ・複雑な接続表現や連体修飾節が組み合わされた複文がわかる。	【接続表現】 ・文章中の文体や待選表現等の使い分けの意図がわかる。	【指示内容】 ・文章中の文体や待選表現等の使い分けの意図がわかる。	【スタイルの使い分け】 ・文章中の文体や待選表現等の使い分けの意図がわかる。	【未知情報推測】 ・使用頻度の低い、難度の高い語の意味を、漢字の意味や前後の文脈から、素早く推測できる。	【論の抽象化と例示】 ・文章中の論を抽象化し、関連する事象の例を挙げることができる。	【内容再生】 ・必要となる言い換えをすることによって、文章の要点を的確に示すことができる。	【意見】 ・筆者の主張や論理に対し、自分の意見、批判を客観的に述べることができる。	【批判】 ・必要な時には内容への批判も述べられる。	【関連情報】 ・書名や目次、見出しなどの情報から、読むべき資料を探すことができる。
上級2	● 一般向けの、抽象度の高い文章を読んで、論旨や主張が把握できる。 ● 小説や記事、専門性の高い文章を読んで、含意されたメッセージを含め、批判的に解釈できる。	高度経済成長とサラリーマン文化、教育の機会均等、ピアノ(芥川龍之介)	論説文、専門書、記事、評論文、小説	【構成・内容】 ・構成が複雑な文章を読んで、全体の内容構成、論理の流れがわかる。主張や要点及びそれを支持/説明する箇所とその内容が示し、論理の整合性が判別できる。	【段落内/間の意味関係】 ・段落の要点がよくわかり、段落間・段落内の談話展開、論理の流れが的確に把握できる。(例 結果と原因、対比、主張と根拠、結論とサポート、定義、例示、比喩)				【スタイルの使い分け】 ・文章中の文体や待選表現等の使い分けの意図がわかる。	【未知情報推測】 ・使用頻度の低い、難度の高い語の意味を、漢字の意味や前後の文脈から、素早く推測できる。	【論の抽象化と一般化】 ・文章中の論を抽象化し、その論理を他の具体的な事象に適用して説明できる。	【内容再生】 ・要約の方法がわかっており、抽象度の高い文章を読んで的確に文章の要約ができる。	【意見・批判】 ・筆者の主張や論理に対し、自分の意見、批判を客観的に述べることができる。	【批判】 ・必要な時には内容への批判も述べられる。	【関連情報】 ・書名や目次、見出しなどの情報から、読むべき資料を探すことができる。
超級	● 一般向けの、抽象度の高い文章を読んで、相対的な視点から論旨や主張が把握できる。 ● 小説や記事、専門性の高い文章を読んで、含意されたメッセージを含め、批判的に解釈できる。	文化摩擦、国家権力とは何か、近代合理主義の光と影、パン屋襲撃(村上春樹)、変な音(夏目漱石)	論説文、専門書、記事、評論文、小説	【構成・内容】 ・構成が複雑な文章を読んで、全体の内容構成、論理の流れがわかる。主張や要点及びそれを支持/説明する箇所とその内容が示し、論理の整合性、明晰さが判別できる。	【段落内/間の意味関係】 ・段落の要点がよくわかり、段落間・段落内の談話展開、論理の流れが的確に把握できる。(例 結果と原因、対比、主張と根拠、結論とサポート、定義、例示、比喩)				【スタイルの使い分け】 ・文章中の文体や待選表現等の使い分けの意図がわかる。	【未知情報推測】 ・使用頻度の低い、難度の高い語の意味を、漢字の意味や前後の文脈から、素早く推測できる。	【論の抽象化と一般化】 ・文章中の論を抽象化し、その論理を他の具体的な事象に適用して説明できる。	【内容再生】 ・要約の方法がわかっており、抽象度の高い文章を読んで的確に文章の要約ができる。	【意見・批判】 ・筆者の主張や論理に対し、自分の意見、批判を客観的に述べることができる。	【批判】 ・必要な時には内容への批判も述べられる。	【関連情報】 ・書名や目次、見出しなどの情報から、読むべき資料を探すことができる。

全レベル共通目標

- ①情報把握
 - ②談話構成
 - ③既知知識の活用
 - ④自律的な読み
 - ⑤課題・活動の遂行
 - ⑥態度(意欲)
- ▼目的に合わせて読み、文章中の必要な情報を得ることができる。
▼文章全体の流れを理解し、各段落など、文章の構成部分の位置づけがわかる。
▼文章を読んで、その中に示されている情報や考え方を既知知識と結びつけることができる。
▼文章をどの程度理解したかを自ら判断し、必要な行為(例 辞書使用/不使用)を選択、実行できる。
▼理解した内容に関する課題や活動について、その目的を理解し、遂行することができる。
▼文章を積極的に読み、意味の把握に意欲的に取り組むことができる。